## 会議録 (要点筆記)

会議録(要点筆	-HL/				
会 議 名	令和2年度 第2回米原市社会教育委員会議				
開催日時	令和3年1月14日(木) 午後7時00分~午後8時15分				
開催場所	ルッチプラザ 健康ルーム				
出 席 者	〇中西 太、大谷 章、上田 洋平、塚田 多佳子、田中 理華				
	谷口 嘉之、冨田 正子、田中 一郎、西林 正夫				
	(敬称略、順不同)				
	○生涯学習課(梶田課長、堀補佐、澤主幹、川村主任)				
協議事項	1 開会				
	2 協議事項				
	3 その他				
	4 閉会				
	   議事録のとおり				
針等)					
協議経過	事務局)過半数以上の委員が出席のため、本会議の成立を報告。				
(主な質問、意					
見)					
	2 協議事項				
	(1) コミュニティ・スクール活動参加(河南中学校)を終えて				
	事務局)資料①に基づいて説明。				
	委員長)参加された方の感想を聞かせていただきたい。				
	委員)事前に参加人数が少ないと聞いており、確かに生徒は少なかったが、				
	地域の人がたくさん参加していた。プランターの準備など事前の段取がし				
	っかりされていて、プランター数も多く、和やかに活動することができた。				
	生徒も地域の人と一緒になってやっていたのが良かった。				
	委員) 思っていたよりも参加者が少ないと感じたが、参加していた中学生				
	はとても意欲的に参加していた。下準備がしっかりされていて、地域の方々				
	が一生懸命なのが伝わった。プランターにも地域ならではの工夫がされて				
	いた。少しずつ活動が広まって参加者がもっと増えれば良いと思う。				
	委員長)今回の河南中学校は、生徒は自主的なボランティアでの参加との				
	ことであったが、伊吹山中学校は1年生全員参加であった。自主的な参加				
	なのか、全員参加なのかどちらのやり方が良いのかは考えるところである。				
	地域の人と生徒、学校と地域をつなぐことが目的だが、学校が地域の魅力				
	をまだ理解していないのではないかと感じた。				
	委員)子どもの参加が少ない。やっていることがマンネリ化しているよう				

に感じる。同じ中学校区内に上丹生のチューリップ畑もやっているので、 そこで長い時間をかけて色々と勉強してもいいと思う。地域の取組に参加 することで、コミュニティを広げていけば良いと思う。

委員長)参加できなかった人から意見などあればどうぞ。

委員) 学校運営協議会が情報を持ち寄って企画しているが、そんなに地域 の情報が集まっていない状況がある。なかなかアイデアが出てこないとい う意見もあり、地域をリードするような人が出てこないと運営は難しいと 思う。

委員長) 委員は校長が選んでいると聞いた。自治会長など地域をよく知る 人が参加できるようになれば良いと思う。

委員)生徒全員参加と自主参加では内容が全然違うと思う。伊吹山中学校 は校長が中心になって進めており、子どもの表情も良かった。

事務局)参加生徒は少なかったが、楽しそうに活動していた。教頭先生と話をしたが、学校が主体となっているとのことであり運営協議会が主体となるのは難しいと感じておられた。少しずつ地域と連携を進めている状況であるため、地域と学校をつなぐコーディネーターのような人が増えればもっと活動の幅が広がると思う。

委員)全員参加でも自主参加でも両方の良さがあると思う。春照小学校では活動の一環としてプログラミング教室や野外での読書会を行っている。 どちらも自主参加だが、参加率は高い。全体参加のものとしては、杉澤の遺跡発掘を行っており、5、6年生全員が参加した。学校だけではできない取組を地域の方と一緒に行っている。

## (2) 今後の社会教育委員会議のまとめについて

事務局)資料②に基づいて説明。

委員長)コミュニティ・スクールの説明については、1回の記述で良い。 コミュニティ・スクールの説明ではなく、課題を重点的にまとめてほしい。 委員)コミュニティ・スクールと社会教育委員会との連携や、学校との連携を通じたこと、社会教育の側面から課題を見つけるべき。社会教育の側から関わりをどう持つのかを考える必要がある。そのためには、社会教育が持っている情報をリソースする工夫が必要。社会教育がどうしていくかがまとめにあるほうが良い。

委員) コミュニティ・スクールについては、我々も最初理解が乏しかった こともあるので、説明はあっても良いと思う。

委員)人材の話に対して社会教育委員会の関わり方が重要かと思う。

委員) 来期は何を見るべきか分かった。今期はコミュニティ・スクールを 理解したという認識で良いと思う。社会教育委員会でできること、何を提 供できるかを今後考える。今回はコロナ禍で活動が思うようにできなかっ

<del>-</del>
た。
事務局)意見を踏まえ、まとめとして集約し委員に確認いただく。確認い
ただいた内容を再度加筆修正等をし、最終的なまとめとする。
3 その他
・社教情報 No.84 および情報誌「しが志縁」について紹介
・滋賀県社会教育委員連絡協議会第2回理事会について
4 閉会

会議の公開・非公	■開示 □一部開	示(根拠法令等:	)
開の別	□非開示	(根拠法令等:	)
全部記録の有無	会議の全部記録	□有 ■無 録音テー	プ記録 □有 ■無
担 当 課	生涯学習課	(55-8106)	